

学びの広場 2019

小学校では2020年度、中学校では2021年度から新しい学習指導要領に基づいた学習が始まります。そこで今月号では、松田小学校の新学習指導要領を見据えた、「校内研究」（教職員が自主的に取り組む研究）について紹介します。

研究主題

「見て聴いて 考えて つなぐ学習」を通して、「分かり合う喜びのある授業の創造

～「見て聴いて 考えて つなぐ学習」を通して～



松田小学校では高木展郎先生（横浜国立大学名誉教授）のご指導のもと、平成20年度より一貫して「見て聴いて 考えて つなぐ学習」をテーマに研究を進めています。

今年度は算数科に焦点をあて、「主体的・対話的で深い学び」をめざす授業展開の研究に取り組んでいます。そのため、児童自らが「解決したい」と感じる問い合わせとなり得るような学習問題を精選しています。その上で、問題を解決するために、思考過程や結果を具体物、図、数、式などを用いて表現し、伝え合う数学的活動を充実させていきます。

また、学びやすい学習集団づくりに努めるとともに、最初の一入学の時間を十分に

見つけてみよう」と声をかけ

問 教育課 学校教育係 ☎(83)7023
生涯学習係 ☎(83)7021

ることで、児童の考える意欲を引き出しています。他者と切磋琢磨し合う授業を通して、一人ひとりの答えは自己の納得に向けて磨きがかかる、明確なものになります。

さらに、教師の指導力を向上させるために、毎年一人一回の公開授業を行い、その後に研究協議を行っています。研究協議では三つのグループに分かれ、授業者の工夫した点や児童の学びの様子、発問のありかた、より質の高い授業を行う

アシリテーターとしての力もつけていきます。
公開授業を行う前後の検討会やプレ授業も、貴重な研修の場になっています。



一人学びの時間に教師が児童と把握し、授業の組み立てを考えることが必要になります。「一人学びで自分の考え方をきちんと把握する」という意識が生まれたのです。すみません。主題から離れてしましましたね。

さて、20万年前にアフリカで誕生した現代人の直接の祖先（新人）が世界各地に広がり、日本列島にやつてきたのが約3万7000年前。当時はまだ氷期で、日本列島は大陸の半島になっていた古北海道と古本州、民文化センターで第2回町民大学を開催しました。当 日は、持参された防災グッズを手に取って見ることもできましたので、31人の参加者は、大変ためになつたよ

授業にするための改善点など、付箋紙を各教師が模造紙に貼り、意見交換を行っています。さまざまな視点から意見が出されるので、自分の気がつかなかつた点を知ることができ、よい学びの場となつてあります。また、若手教師はフ

トトロの「命を守るいつもの暮らしの中の防災」を題材に、講師のあんどうりすさんと一緒に、水と風、空気の3要素を考えた着方や防災用トイレに多くの関心が集まるようになりました。また、「1時間に100ミリの雨量のイメージは、1メートル四方に100キロの力士が落ちてくること」という説明に多くの方が驚いたので、田名向原遺跡の住居状遺構が発見されました。これは大型のテント跡と推定されています。また、大量に見つかった石槍などは長野県や伊豆・箱根などの黒曜石で作られており、これらの地域との交流を窺われます。



では、松田町ではどうなのでしょうか。『まつだの歴史』（松田町教育委員会昭和52年発行）は庶子と弥勒寺から発見された石器を旧石器時代のものとして紹介しています。しかし、残念ながら共に学術的な発掘調査を経たものではないようです。

松田 文化財探訪

続・町指定文化財とその周辺 その6

文化財保護委員 鈴木 一^{すず}_{ゆき}

先史・古代の遺跡や遺物（一）
→後期旧石器時代→

今から46億年前に地球が誕生し、39億年前に原始生命が生まれました。そして、最古の人類（猿人）が誕生したのが700万年前の事。この地球の歴史を一年間のカレンダーに表すと、原始生命誕生は2月25日で、人類誕生は大晦日の午前10時40分になるとか。現在、地球温暖化、廃プラ問題など様々な地球環境問題が起きています。新参者の人類が地球を壊そうとしているのです…。すみません。主題から離れてしましましたね。

さて、20万年前にアフリカで誕生した現代人の直接の祖先（新人）が世界各地に広がり、日本列島にやつてきたのが約3万7000年前。当時はまだ氷期で、日本列島は大陸の半島になっていた古北海道と古本州、民文化センターで第2回町民大学を開催しました。当 日は、持参された防災グッズを手に取って見ることもできましたので、31人の参加者は、大変ためになつたよ

でした。

では、彼ら後期旧石器時代人はどの様な生活をしていたのでしょう。彼らは次の縄文時代人とは違つて一定の場所に定住し

ませんでした。したがつて、堅穴住居は発見されていません。

打製石器と呼ばれる道具などを使つて動物を狩り、魚を捕り、木の実などの食料を採集して生

活していました。でも、土器は

知らないなかつたので、食物を煮炊

きすることはなかつたようです。

相模原市に田名向原遺跡（国

指定）があります。平成9年に

ここから約

2万100

0年前の直

径10m程の

日本最古の

住居状遺構

が発見され

ました。これは大型のテント跡と推定されています。また、大

量に見つかった石槍などは長野

県や伊豆・箱根などの黒曜石で

作られており、これらの地域との交流を窺わせます。

では、松田町ではどうなのでしょうか。『まつだの歴史』（松

田町教育委員会昭和52年発行）は庶子と弥勒寺から発見された石器を旧石器時代のものとして紹介しています。しかし、残念

ながら共に学術的な発掘調査を経たものではないようです。